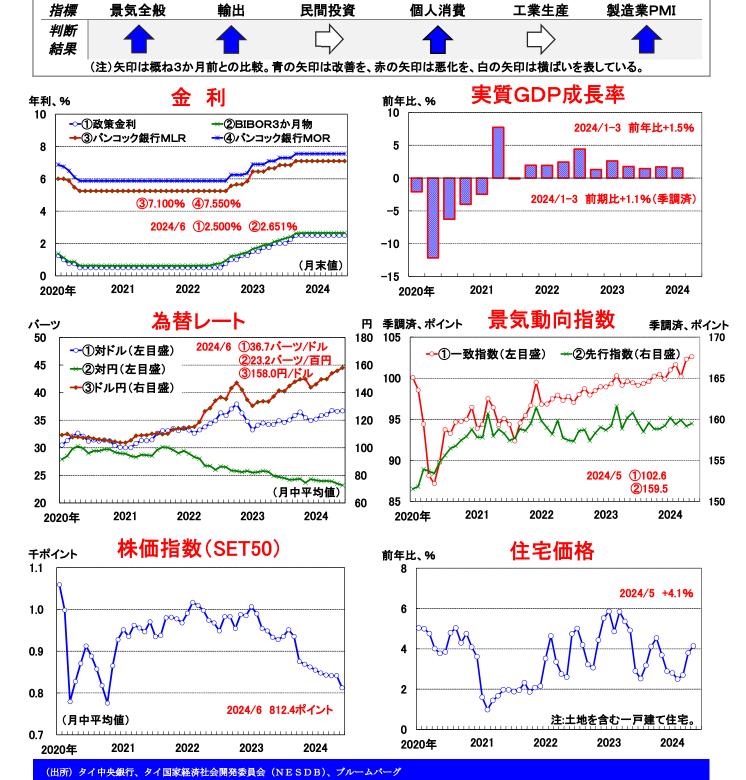
グラフで見るタイ経済 2024年7月号(No. 181)

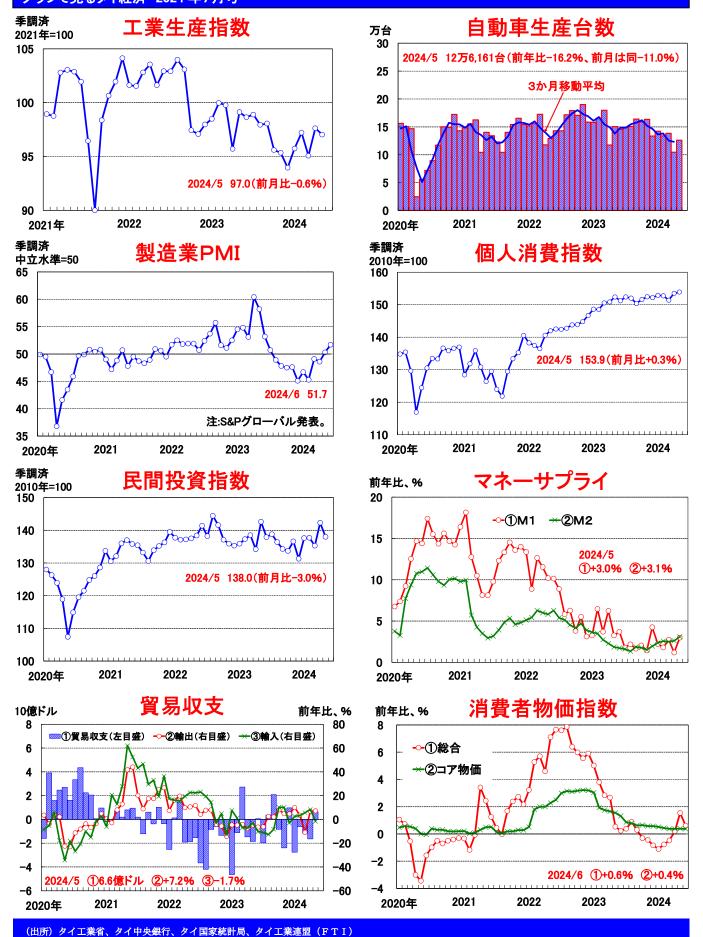
タイの景気は緩やかに持ち直している。まず、5月の個人消費指数は前月比+0.3%と2か月連続で上昇した。内訳をみると、海外観光客の入国増加を背景に、非居住者消費指数が上昇した。また、同月の輸出は前年比+7.2%と前月の伸びを上回った。特に中国向けの輸出が前年水準を大きく上回った。続く6月の製造業PMIは51.7と2か月連続で上昇した。ただ、記録的な猛暑による冷房需要の急増で電力不足が発生し、5月の工業生産指数は前月比-0.6%と低下した。同月の民間投資指数も同-3.0%と下落した。

【足元の景気判断】



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

グラフで見るタイ経済 2024 年7月号



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート 発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正 確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総

合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。